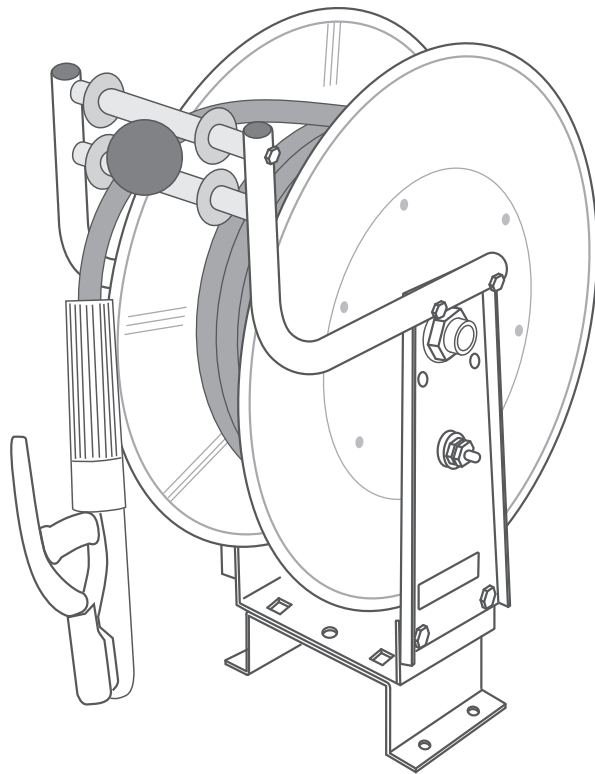


# O-series 0シリーズ

## 電気溶接リール



### 取扱説明書

型式

SDR-2215(A)

SDR-2220(A)

SDR-3815(A)

SDR-3820(A)

SDR-00

#### はじめに

安全上のご注意	P.2
各部の名称と役割	P.4

#### 使用する

設置方法	P.5
ご使用方法	P.8
メンテナンス	P.10

#### 困った時は

故障と処置	P.13
仕様・外観図	P.14
保証とアフターサービス	P.15

## ケーブルは必ず全部引き出してから使用してください

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は人とその周囲の危害・損害を防ぐため、ご使用にあたっての注意事項や基本的な使い方を説明しています。

- ・本書の内容を最後までよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ・ご使用前に P.2 「安全上のご注意」 を必ずお読みください。
- ・この取扱説明書はいつでも使用できるよう大切に保管してください。

# 安全上のご注意

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています



この表示の注意事項を守らずに誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うおそれがあります。



この表示の注意事項を守らずに誤った取り扱いをすると、軽傷を負ったり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



定格を守る

### 行為を指示する記号



指示を守る



アース線を  
接続する

## 本製品を正しく安全にご使用いただくために

### ●安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

### ●故障したら使わない

すぐに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に修理をご依頼ください。

### ●万一異常が起きたら

例)

- ・煙が出たとき
- ・異常な音・においがしたとき
- ・内部に異物が入ったとき
- ・製品を落とすなどして、製品や付属品が破損したとき

#### ①供給を切る

バルブを閉じたり、電源を切ったりするなど、供給を停止させる

#### ②使用を中止

取り付けしている工具や機器を安全に外す

#### ③修理・点検を依頼

お買い上げの販売代理店に依頼する

異常が解決されるまでむやみにリールを触らないでください。

本書の内容を最後までよく読み、本製品を正しく安全にご使用ください。  
また、読み終わった後はいつでもご覧いただけるよう大切に保管してください。

## 警告



### 子供や幼児の届かない場所に設置する

事故やけがの原因となります。

指示を守る



### 屋外で使用しない

さび、腐食などで火災や故障、異常動作の原因となることがあります。本製品は屋内仕様です。

禁止



### 許容電流を超えて使用しない

リール本体、ケーブルおよび接続された機器の故障や、火災や感電の原因になるおそれがあります。製品の仕様（参照:P.14「仕様」）をご確認のうえ、ご使用ください。接続された機器が正しく動作しない場合があります。

定格を守る



### アース線を接続する

接続する溶接機の取扱説明書に従い、各部接続および接地を正しく行ってください。感電の原因となります。

アース線を接続する



### お手入れの際や、長期間使用しない場合は接続を外す

機器に接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

また長期間使用しない場合は、安全のためすべての接続を外してください。

指示を守る



### 油煙・湯気・湿気・水気・ほこりの多い場所や高温になる場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や故障、破損の原因となることがあります。

禁止



### 本製品に水やオイルなどの異物を入れたり、付着させたりしない

ドラム内部に水や異物が入ったり、外装に水や塗装ミストなどの異物が付着したりすると故障の原因となることがあります。

禁止

万一、水や異物が入った場合は直ちに接続された機器を外し、お買い上げの販売代理店に点検・修理をご依頼ください。



### 警告ラベルは剥がさず、大切に使用する

剥がれや汚損、劣化された場合はお買い上げの販売代理店からご購入のうえ、正しく貼付してください。

指示を守る



### 日本国内で使用する

海外など、異なる電圧で使うと火災や感電、故障の原因となることがあります。指定された電圧でご使用ください。

指示を守る



### 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取付場所の強度も十分にお確かめください。

禁止



### 直接日光の当たる場所または熱器具近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

また、リール本体やケーブルの耐久性低下の可能性もあります。

禁止



### 修理技術者以外による分解・修理・改造はしない

本製品には電圧の高い部分があるため本体をむやみに開けたり改造したりすると、故障や異常動作の原因となることがあります。

また、本製品には強力なゼンマイが内蔵されています。部品等が勢いよく飛散し、けがをすることがあります。

点検・修理はお買い上げの販売代理店にご依頼ください。

分解禁止



### ケーブルを傷つけない

ケーブルを傷つけると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

禁止

・ケーブルを加工したり、傷つけたりしない。

・ケーブルを無理に折り曲げない。

・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。

・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。

万一、ケーブルが傷んだ場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に交換をご依頼ください。



### 落雷のおそれがあるときは使用しない

落雷により火災や感電、本体が故障することがあります。

雷が予測されるときは、火災や感電、本体の故障を防ぐためにすべての接続を外し、雷が鳴り出したら本製品には触らないでください。

禁止

安全上のご注意

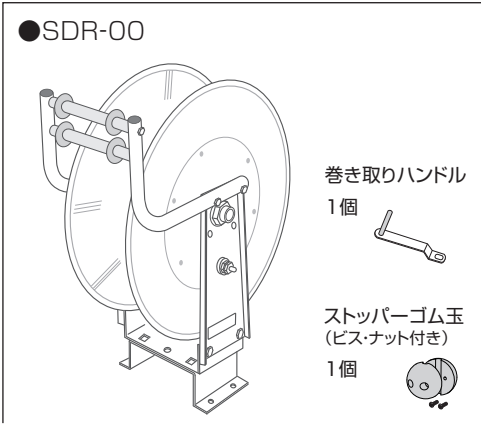
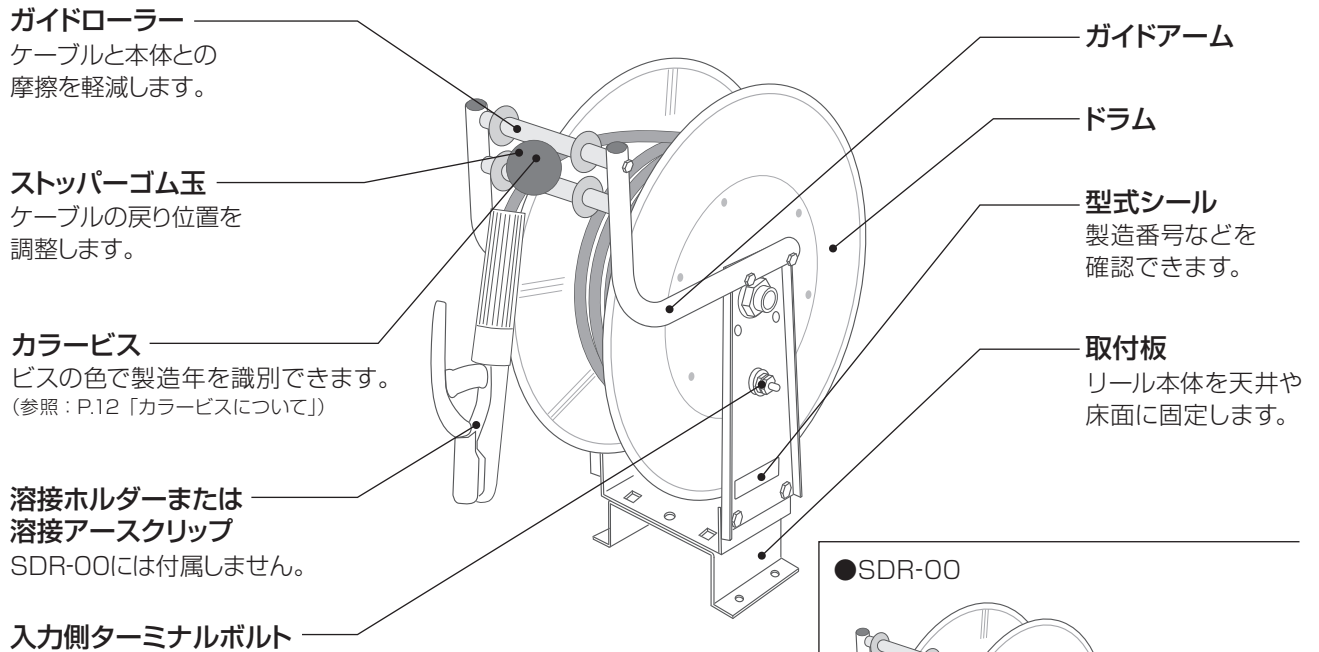
はじめに

使用する

困ったときは

# 各部の名称と役割

箱の中に同梱品（本体・付属品）がすべて揃っているか確認してください。



各部の名称と役割

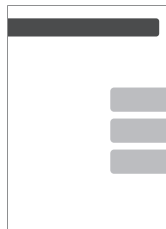
はじめに

使用する

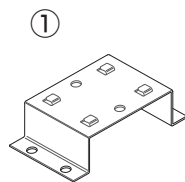
困ったときは

## ●共通付属品

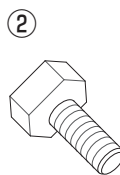
箱の中に同梱品（本体・付属品）がすべて揃っているか確認してください。  
付属品に不備があった場合はただちにお買い上げの販売代理店にご連絡ください。



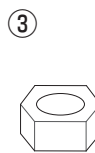
取扱説明書  
(本書)  
1冊



①  
取付板  
1個



②  
六角ボルト  
(M10×25)  
2個



③  
六角ナット  
(M10)  
2個

# 設置方法

この項はリールの取り付けおよび、エア配管等への接続を行う販売代理店または施工業者の方を対象にしています。

## 警告



### 組立・設置の際、作業者の安全対策を徹底する

指示を守る

取り付けが高所作業になる場合はハシゴや脚立を使用せず、安全に作業できる高所作業リフトや足場を設置のうえ、必ず安全ヘルメットを着用し、落下防止の安全帯を使用してください。

また、万一の製品および作業工具の落下に備え、作業中は取付場所の真下への立ち入りを禁止してください。



### 不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取付場所の強度も十分にお確かめください。



### 直接日光の当たる場所または熱器具近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がリ、火災や故障の原因となります。またリール本体やケーブルの耐久性が低下するおそれがあります。



### 許容電流を超えて使用しない

定格を守る

リール本体、ケーブルおよび接続された機器の故障や、火災や感電の原因になるおそれがあります。製品の仕様（参照:P.14「仕様」）をご確認のうえ、ご使用ください。

接続された機器が正しく動作しない場合があります。



### 設置（据付）および移設について

指示を守る

設置場所は十分な強度を確保し、落下・揺れなどがないよう考慮してください。

取付場所付近まで、溶接設備の施工を行ってください。施工は、ジョイントケーブルの長さをご確認いただいたうえで、ケーブルに余裕ができる位置をお願いいたします。



### 本書の内容に従い、正しく組立・設置する

指示を守る

ジョイントケーブルは、確実に接続して絶縁処理を行ってください。接続が不十分だと、火災や感電、ケーブル抜けや漏電の原因となります。

リールは、必ず付属の六角ボルトとナットで固定してください。リールの固定を忘れると、リールの落下など重大な事故の原因となります。



### 油煙・湯気・湿気・水気・ほこりの多い場所や高温になる場所には設置しない

禁止

上記のような場所に設置すると、火災や故障、破損の原因となることがあります。



### 日本国内で使用する

指示を守る

海外など、異なる電圧で使うと火災や感電、故障の原因となることがあります。指定された電圧でご使用ください。

設置方法

はじめに

使用する

困ったときは

# 設置方法

## 設置の前に

### ●設置に必要な道具

- モンキーレンチ
- スパナ (14・17 mm)
- プラスドライバー (No.2・3)
- ハンマー、振動ドリルなど (コンクリート面に取付の場合)
- $\Phi 10$  丸端子のついたジョイントケーブル
- その他取付板の固定等に必要な付属品以外のボルト・ナットなど

### ●移設・交換作業の場合

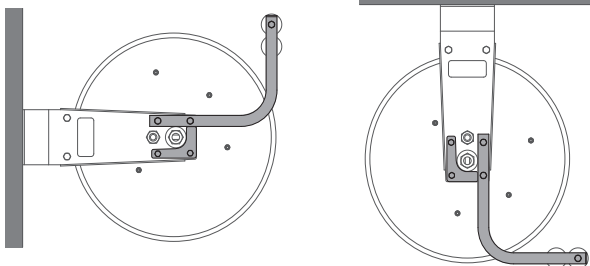
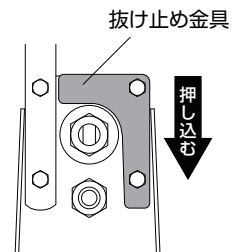
- 安全のためケーブル先端に機器が接続されていないことを確認してから作業をはじめてください。感電のおそれがあります。

## ガイドアームの向き変更方法

設置場所に合わせてアームの向きを変更できます。

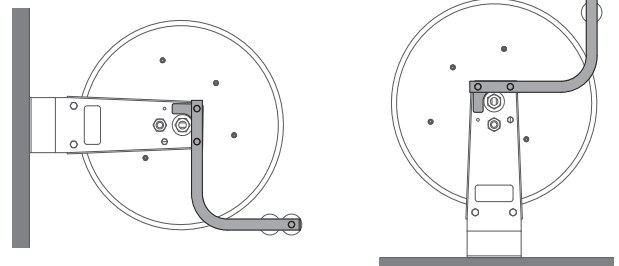
1. ケーブルを 10 ~ 50 cm 引き出してロックさせた後、ガイドアームを固定している六角ボルトと抜け止め金具を外します。
2. 抜け止め金具の向きに注意し、ご希望の向きにガイドアームと抜け止め金具を固定してください。

抜け止め金具は取付ベース側に押し込みながら固定する



壁面 (低位置) ・天井

出荷時の状態です。抜け止め金具はビスで固定しています。



壁面 (高位置) ・床上

抜け止め金具はガイドアームと共締めしてください。

取り付け前にリール本体の仕様と損傷の有無、付属品の欠品の有無を確認してください。

## 設置の手順

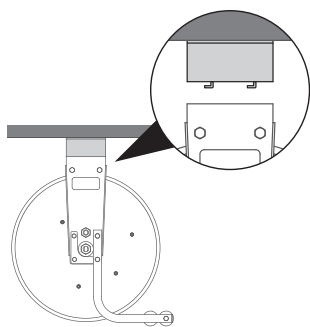
記載された取付場所および接続方法は一例です

### 1. 取付板を固定する

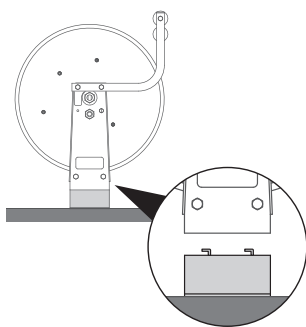
リールの設置方向に合わせて取付板を固定してください。

リール本体・取付板等の寸法は、P.14「仕様・外觀図」でも確認できます。

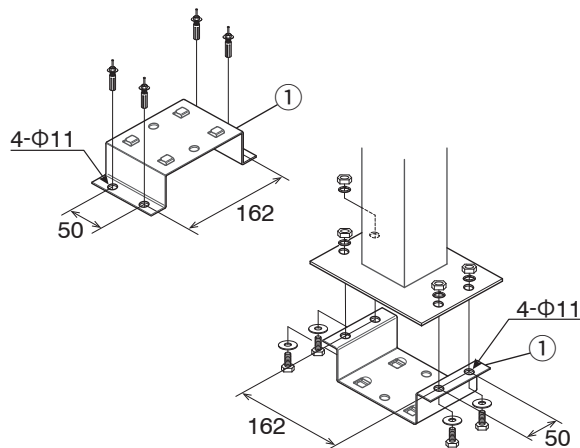
①取付板



壁面（低位置）・天井取付の場合



壁面（高位置）・床上取付の場合



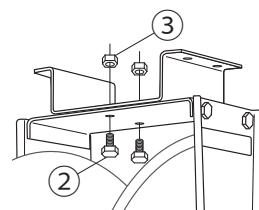
### 2. リールを固定する

リールを取付板に差し込み、付属の部品で固定してください。

②六角ボルト（M10×25）

③ナット（M10）

落下防止のため、六角ボルトとナットで確実に締めてください。



### 3. ジョイントケーブルを接続する

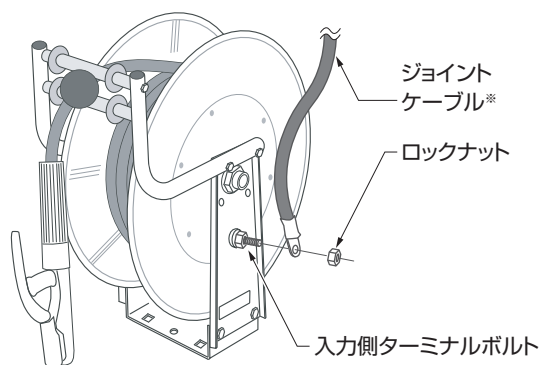
ジョイントケーブル（※お客様用意）が引っ張られないよう、余裕をもって接続してください。

リールへの電源供給用のブレーカー等を入れる

接続後、漏電などがいないか確認する

ナットの締め込み忘れがないか確認する

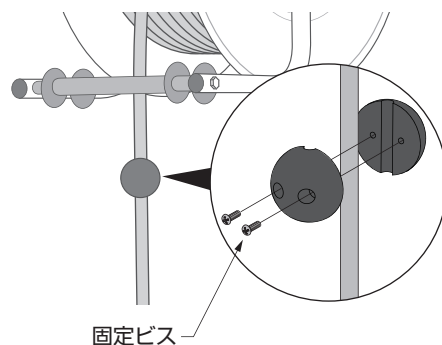
一次側は、お客様の状況に応じて接続してください。



### 4. ストッパーゴム玉を調整し、動作確認をする

ストッパーゴム玉を使用状況に合わせて調整します。固定ビスをゆるめ、希望する長さに調整してください。

その後ゆっくりと全引き出し / 全戻しを行い、動作に問題がないか確認してください。



設置方法

はじめに

使用する

困ったときは



# 設置方法

## SDR-00 (ケーブルなし仕様) のケーブル接続方法

### ●接続に必要な道具

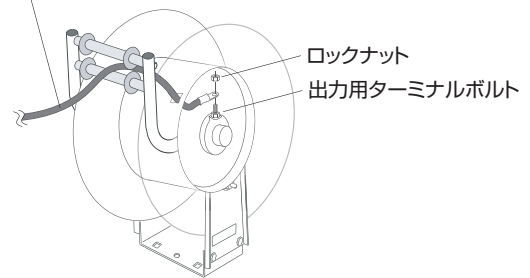
- 20m 以下のケーブル
- プラスドライバー (No.2)
- モンキーレンチ
- その他ケーブル取付に必要な工具
- スパナ (21 mm)

### 1. ケーブルを接続する

丸端子のついたケーブル先端をガイドローラーの間から通し、ターミナルボルトにロックナットで固定してください。

- ケーブルのねじれが起きていないことを確認する
- 接続部分は必ず絶縁処理をする
- ケーブルを軽く引っ張り、ずれないことを確認する

出力側ケーブル

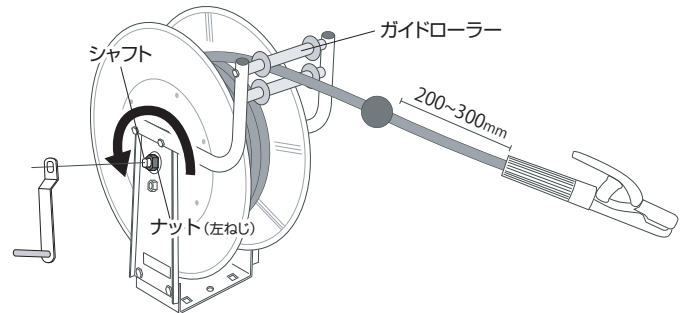


### 2. リール本体にケーブルを巻く

ケーブル先端から 200 ~ 300mm の位置にストッパーゴム玉を取り付けてください。

次にナット (左ネジ) をゆるめ、ストッパーゴム玉がガイドローラーに当たる位置まで、ケーブルを付属のハンドルで左回転 (矢印方向) に巻き取ってください。

- ケーブルはすき間ができないよう整列して巻く



### 3. ゼンマイを巻く

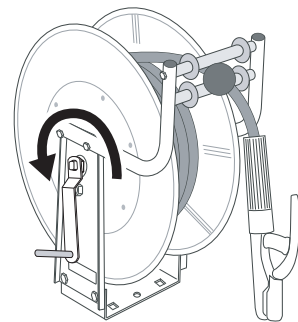
シャフトを付属のハンドルで左回転 (矢印方向) に回転させてください。

断面積 22mm<sup>2</sup> のケーブル : 5 回

断面積 38mm<sup>2</sup> のケーブル : 6 回

回し終えたら、その状態でナット (左ネジ) をしっかり (40N・m) 締め、反対側の左ナットも同様に締め付けてください。

- リール本体を取付ベース側に押さえつけながらナットを閉める



- ゼンマイは絶対に逆回転させないでください。ゼンマイ破損の原因となります。
- ゼンマイを巻き過ぎると、ゼンマイ破損の原因となります。ご注意ください。
- ゼンマイに力が加わった状態でハンドルを離さないでください。ゼンマイが急激に戻り、大けがやゼンマイ破損の原因となります。

巻き付け後、ケーブルを引き出して試みて強すぎたり弱すぎたり場合は、シャフトの巻き回数を調節してください。

巻き過ぎた場合、ケーブルが最後まで引き出せなくなる場合がありますのでご注意ください。



# ご使用方法

## 警告



### ケーブルを巻いたまま使用しない

抵抗が大きくなって発熱の原因となります。ケーブルは必ず全部引き出してから使用してください。

禁止



### 消火器を配置する

溶接作業場所の近くでは、万一の場合に備えて消火器を配置してください。

指示を守る



### ケーブルリールを溶接以外の目的に使用しない

目的以外の使用は、本体の破損や故障の原因となり、けがや施設・設備等の損傷をまねくおそれがあります。

禁止



### 許容電流を超えて使用しない

リール本体、ケーブルおよび接続された機器の故障や、火災や感電の原因になるおそれがあります。製品の仕様（参照:P.14「仕様」）をご確認のうえ、ご使用ください。接続された機器が正しく動作しない場合があります。

定格を守る



### ケーブルには絶対ぶらさがらない

リールの落下、本体の破損や故障の原因となり、けがや設備等の破損をまねくおそれがあります。

禁止



### ガイドローラーに手をいれない

大けがをするおそれがあります。

禁止

使用方法などでご不明な点のある場合は、使用を中止してお買い上げの販売代理店へお問い合わせください。

また、リール本体やケーブルに異常が見られる場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に点検・修理をご依頼ください。

## 注意

### リール本体やケーブルの破損・落下・故障のおそれがあります。下記のような使用は絶対に避けてください。

- ・ケーブルを急激に曲げない。
- ・ケーブルを急激に引っ張らない。
- ・ケーブルを高温・高熱の物に近づけない。
- ・ケーブルを工具や設備等で挟まない。
- ・ケーブルを車両や重量物の下敷きにしない。
- ・ケーブルおよびリール本体に水やオイル、床洗浄剤、塗装ミストなどを付着させない。
- ・リール本体に衝撃を与えない。
- ・スパッタをケーブルや本体に飛散させない。
- ・溶接アースクリップはできるだけ溶接箇所の近くに接続する。

### 引き出し操作時の注意

- ・ケーブルを引き出す際には、必ずリール正面から静かに引き出してください。リール横方向に引くと本体に負荷がかかり、ケーブルやリール取付部が破損し落下するおそれがあります。
- ・引き出し限界線以上はケーブルを引き出さないでください。※強く引かなくてもロックは外れます。
- ・最後まで急激な勢いで引き出すと、内部ドラムが必要以上に回転してロックがかかり、巻き戻しができなくなることがあります。
- ・先端に取り付けた器具を引っ張らないでください。ケーブルの折れ曲がりや器具破損の原因になります。また、折り曲げた状態での引き出し操作は行わないでください。
- ・使用中、ケーブルによるつまずき、からまりに注意してください。

### 巻き戻し操作時の注意

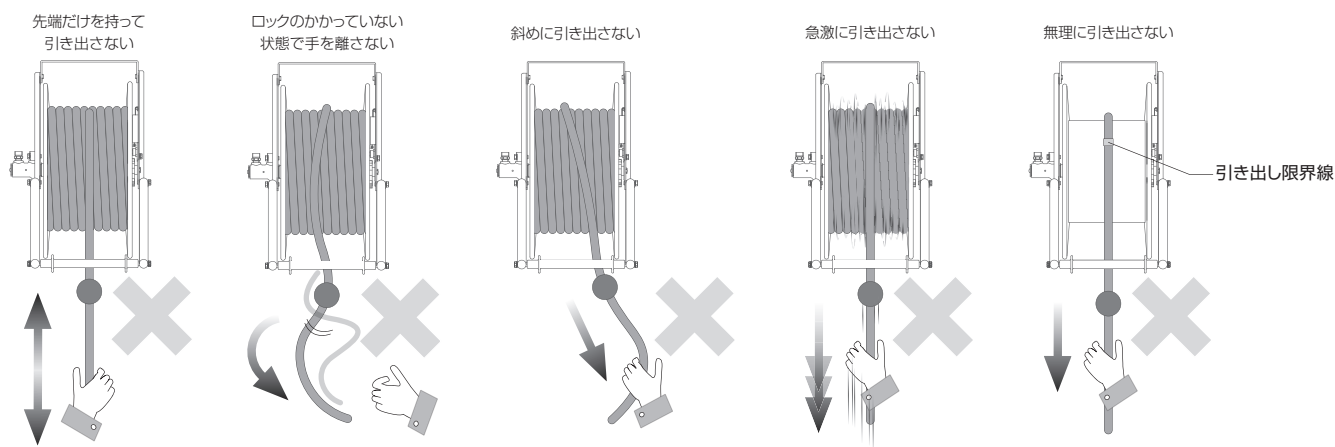
- ・急激にケーブルを巻き戻すと人や物に当たり、けがや破損事故の原因となります。
- ・急激にケーブルを巻き戻すと、乱巻き\*の原因となります。
- ・ケーブルを巻き戻す際には、必ずリール正面から静かに巻き戻してください。リール横方向から戻すとケーブル先端が人や物に当たり、けがや破損事故の原因となります。

※乱巻き：本製品のドラム内でケーブルが絡まり、引き出し操作や巻き戻し操作に支障が出る状態です。

# ご使用方法

## 操作方法

1. ケーブル出口に対し正面に立ち、必要な長さまでケーブルをゆっくりと引き出してください。カチッと音のするところでロックがかかります。
2. ロックがかかったことを確認してから手を離し、使用してください。万一ロックがかからない場合には、さらに5～50cmほどケーブルをゆっくりと引き出してください。
3. 再び5～50cmほどケーブルをゆっくりと引き出すとロックが外れます。ケーブルを持ち、送り込むようにゆっくり巻き戻してください。



ご使用方法

はじめに

使用する

困ったときは

# メンテナンス

## 警告



### 必ずメンテナンスを行う

日常のお手入れや定期点検を行ってください。

指示を守る



### 始業点検および終業点検を説明書の本文に従って必ず実施する

指示を守る

特にケーブルの損傷・キズ・変形・摩耗および汚れがないことを確認してください。



### お手入れの際や、長期間使用しない場合は接続を外す

指示を守る

機器に接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

また長期間使用しない場合は、安全のためすべての接続を外してください。

メンテナンス方法などでご不明な点のある場合は、お買い上げの販売代理店へお問い合わせください。

また、リール本体やケーブルに異常が見られる場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に点検・修理をご依頼ください。

メンテナンス

## 始業点検

作業をはじめる前に

点検箇所	点検方法	内容
ケーブル	目視	変形・破損・摩耗はないか
	目視／掃除	汚れ（水・油・泥）はないか
	動作確認／目視	引き出し・巻き取りはスムーズか
溶接ホルダー ・ アースクリップ	目視	変形・破損・摩耗はないか
	目視／掃除	汚れ（水・油・泥）はないか
	動作確認／目視	機器が正しく動作しているか

ケーブルが引き出しにくい・巻き戻りにくい場合は、シリコン系スプレー等の潤滑剤をケーブルに薄く塗布していただくことで改善されることがあります。

はじめに

使用する

## 終業点検

1. 安全のため溶接機の電源を切り、すべての接続を外してください。
2. ケーブルや溶接ホルダー・アースクリップに付着した汚れ（水・ゴミ・油など）を乾いた布できれいに拭きとってください。この時何か異常が見られる場合、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店にご相談ください。



困ったときは

- 下記のような症状が出た場合は必ず交換してください。

ケーブルに断線や被覆はがれ、硬化、接続器具との接触不良が見られる場合

火災・感電の危険性があります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売代理店に交換をご依頼ください。

# メンテナンス

## 定期点検

専門家による定期点検の実施

定期点検は、使用頻度にかかわらず6ヶ月毎に実施してください。専門家による点検の制度がございますので詳しくはお買い上げの販売代理店にご相談ください。

チェック	点検項目
<input type="checkbox"/>	リール取付部のねじのゆるみがないか
<input type="checkbox"/>	リール本体に変形や著しい摩耗などがないか
<input type="checkbox"/>	ケーブルに被覆はがれやキズ・よじれ・折れ曲がり・硬化はないか
<input type="checkbox"/>	引き出し限界線までケーブルの引き出し・巻き戻しができるか
<input type="checkbox"/>	引き出し限界線までケーブルをすべて引き出し、問題なくロックがかかるか

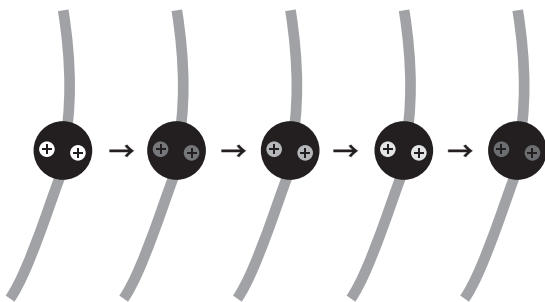
## カラービスについて

リールの製造年識別システム

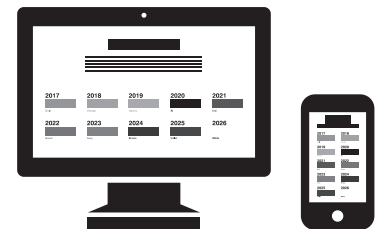
1年ごとにビスの色が切り替わります。

「何年に製造したリールなのか」

弊社の web サイト (<http://www.triens.jp>) と照らし合わせてお手元で確認ができます。



PC やスマホから簡単アクセス



消耗品の交換時期目安の確認や修理依頼の際は「識別システム」をチェック！

## 消耗部品について

長期間使用されますと消耗部品の経年劣化や使用環境による磨耗により、ケーブルの断線や被覆はがれの原因となることがあります。下記交換時期を目安とし、定期的な修理・交換の実施をお願いいたします。

ジョイントケーブルを含むケーブル類

交換目安 **5** 年

内部接点 Assy

交換目安 **5** 年

修理・交換についてはお買い上げの販売代理店にご相談ください。

※上記年数は目安であり保証値ではありません。異常が見られない場合でも定期的な修理・交換の実施をお願いいたします。

# 故障と処置

不具合が見られる場合はもう一度本書をよく読んでご確認ください。

症状	原因	処置
電気がこない	電源が入っていない	電源スイッチを入れる
	ケーブルの接続不良	接続をやり直す
	ケーブルの断線（ケーブルは消耗品です）	ケーブルの交換 販売代理店にご相談ください
	リール内部接点の不良（接点は消耗品です）	接点の交換 販売代理店にご相談ください
ケーブルが出てこない	ラチェットの破損・引っ掛かり	販売代理店にご相談ください
ケーブルが巻き戻らない	ゼンマイの破損	販売代理店にご相談ください
	ケーブルの引き出し過ぎによるラチェットの引っ掛かり	販売代理店にご相談ください
	ケーブルの乱巻き	ケーブルを引き出し、ゆっくりと手を添えて巻き戻す
ケーブルが止まらない	ラチェットの破損	販売代理店にご相談ください

改善がみられない場合はお買い上げの販売代理店にご相談ください。

故障と処置

はじめに

使用する

困ったときは

# 仕様・外観図

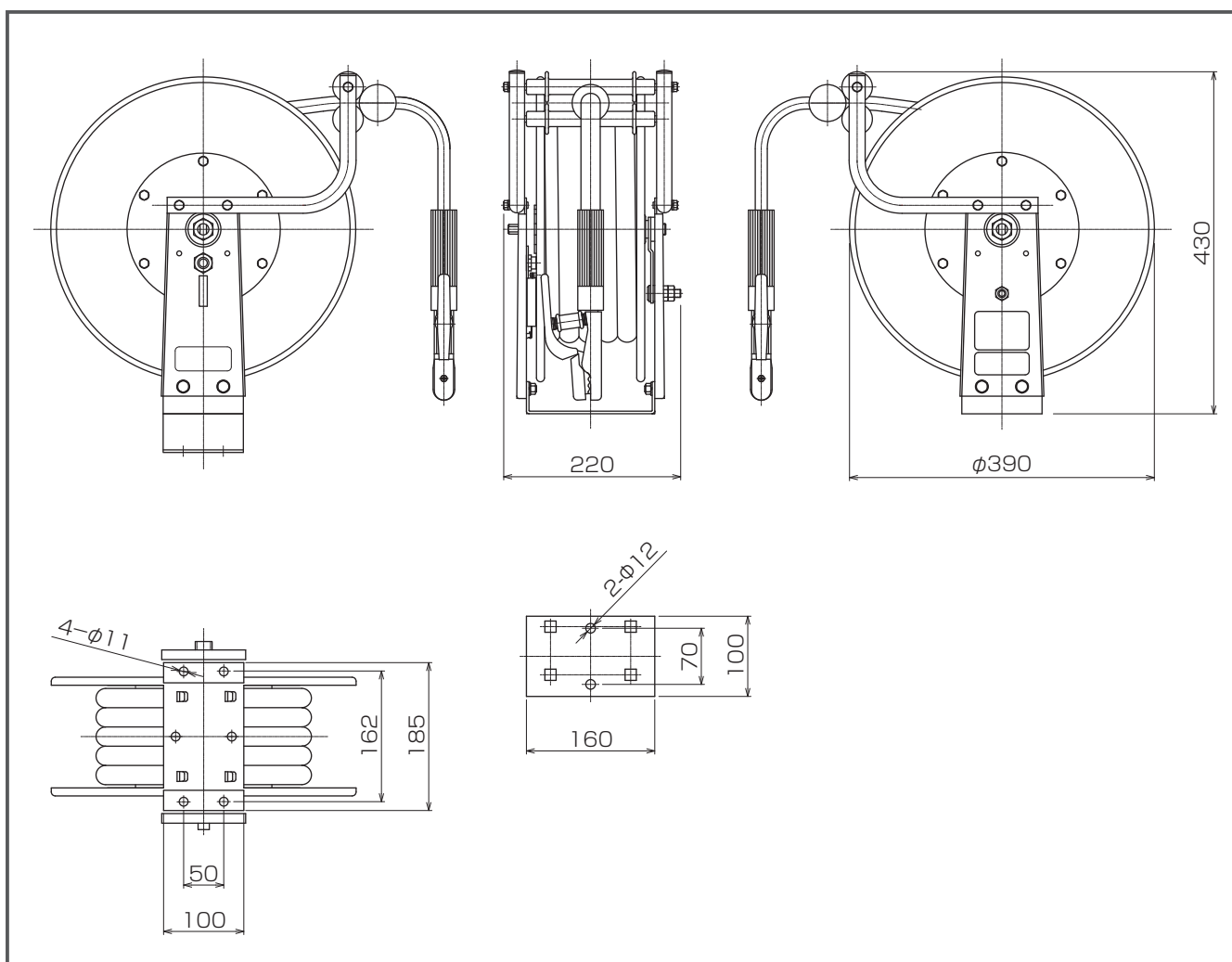
製品名	電気溶接リール				
型式	SDR-2215 SDR-2215A	SDR-2220 SDR-2220A	SDR-3815 SDR-3815A	SDR-3820 SDR-3820A	SDR-00
リール設置場所	屋内				
使用ケーブル	溶接用キャブタイヤケーブル (WCT)				—
断面積 (mm <sup>2</sup> ) × 心数	22.0 × 1		38.0 × 1		—
ケーブル全長 (m)	15.0	20.0	15.0	20.0	—
先端金具・形状	溶接ホルダーまたは溶接アースクリップ				—
ジョイントケーブル	—				
許容電流	100% : 150A    50% : 220A				
使用温度範囲	0℃ ~ +50℃				
本体重量 (kg)	13.1	14.6	15.9	18.3	8.1

仕様・外観図

はじめに

使用する

困ったときは



# 保証とアフターサービス

## 保証規定

取扱説明書・本体警告ラベル等の注意書きに従って、正常な状態で保証期間内（納入後 1 年以内）に故障した場合には、弊社の責任において無償にて部品の手直し・修理・取り換え・部品交換を行わせていただきます。

ただし次の場合に該当する故障は保証しておりません。

- 使用上の誤り・保守点検・保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷
- 製品の動作機構に悪影響をおよぼす変更（改造）が加えられた場合または、それが原因で発生した故障および損傷
- 消耗部品（参照：P.12「消耗部品について」）が損傷し、取り換えを要する場合
- 指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合
- 弊社または弊社の販売代理店以外の方による分解修理が行われた場合、それが原因で発生した故障および損傷
- 設置に原因がある故障および損傷（取付不良による落下、さび・腐食・水などによる故障は保証しておりません）
- 指定以外の流体を流すなど、流体の汚れや不純物の混入が原因で発生した故障および損傷
- 定格電圧・電流を超える使用や最高使用圧力を超える使用など、その他製品仕様以外のご使用が原因で発生した故障および損傷
- 火災・地震・風水害・その他天災・地変等外部に要因がある故障および損傷
- 日本国以外にてご使用の場合
- 保証請求手続きが不備の場合（型式または製造番号の連絡がない場合など）
- その他、合理的事由から弊社が保証対象外と判断した場合

上記規定に基づき、不具合が発生した場合にはお買い上げの販売代理店へご連絡ください。

なお、保証の要否は誠に勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご了承ください。

## アフターサービス

調子が悪いときは	まずは取扱説明書内 P.13「故障と処置」をご覧ください。
それでも調子が悪いときは	型式・製造番号・購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売代理店にご相談ください。
保証期間中の修理について	製品保証規定の記載内容に基づいて修理いたします。 お買い上げの販売代理店にご相談ください。
保証期間後の修理について	有償修理いたします。 お買い上げの販売代理店にご相談ください。
アフターサービスについての詳細	その他ご不明な点は、お買い上げの販売代理店にお問い合わせください。

型式	
製造番号（SER.No）	
購入日	年 月 日
購入先	





各ソーシャルメディアより、三協リールのニュースや製品情報などを定期的に配信しております。

FB,IG,TW:@triensjapan / YouTube:trienstube

〔販売代理店または施工業者様へのお願い〕

この取扱説明書はお客様へ必ずお渡しください。

製造元

**株式会社 三協リール**

〒263-0002

千葉県千葉市稲毛区山王町 279-5

TEL : 043-421-5551 FAX : 043-421-5553

e-mail : info@triens.jp http://www.triens.jp

販売元

改良のため予告なく仕様などを変更することがあります。ご了承ください。

2021.5

(c)2020 SANKYO REELS,INC.